

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 47 号

第 47 週(11月17日～11月23日)

発行年月日:平成20年(2008年)11月27日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

インフルエンザウイルスAソ連型の検出 感染性胃腸炎の発生は急増

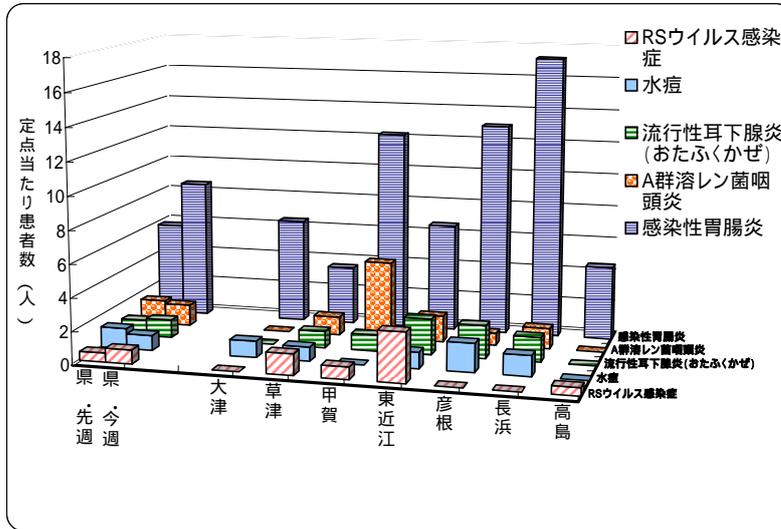
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりさらに多くなっています。今週増加した疾患はインフルエンザ、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、水痘、突発性発しん、ヘルパンギーナおよび流行性角結膜炎です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報および注意報の発生状況は、A群溶レン菌咽頭炎では甲賀で警報開始基準値(4.0)を、流行性角結膜炎では草津で警報終息基準値(4.0)を超えています。また、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)では甲賀で注意報発生基準値(3.0)未満になっています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で5名の届出がありました。

また、インフルエンザについては、平成20年11月13日に採取されたうがい液から**インフルエンザウイルスAH1型**(Aソ連型)が検出されました。県内におけるインフルエンザウイルスAソ連型の検出は今回が初めてであり、今後、県内において流行する可能性があるため感染予防に対する注意が必要です。

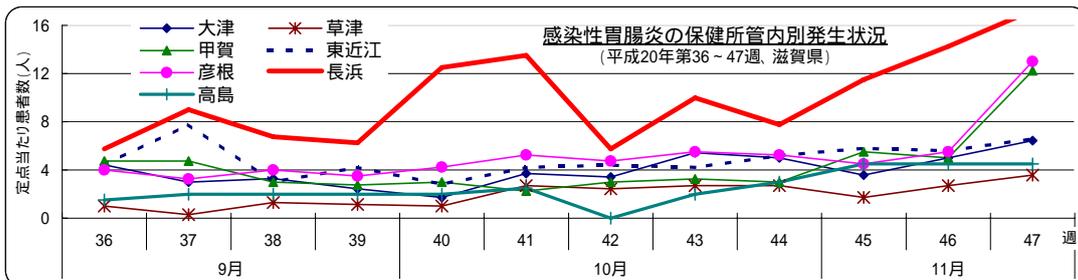
上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第47週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、A群溶レン菌咽頭炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、水痘、RSウイルス感染症の順に多くなっています。

感染性胃腸炎はほとんどの保健所管内で先週より多くなっています。A群溶レン菌咽頭炎は甲賀で、RSウイルス感染症は東近江で多くなっています。

感染性胃腸炎の発生状況(平成20年第36～47週、H20.9.1～11.23)



先週と比較すると高島では横ばいですが、それ以外の保健所管内では増加しています。特に甲賀および彦根で急増し、長浜ではかなり多くなっています。今後の発生状況に十分な注意が必要です。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (47週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (47週)	全国 (47週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	5	250	24,679	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	0	2	281	^(*) 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	0	51	4,128	55	4,586
四類感染症	パラチフス	0	0	25	1	22
	E型肝炎	0	0	41	1	54
	A型肝炎	0	3	161	1	154
	コクシジオイデス症	0	1	2	0	3
	デング熱	0	2	95	1	89
	マラリア	0	1	50	1	52
五類感染症	レジオネラ症	0	9	805	8	655
	アメーバ赤痢	0	9	756	15	781
	ウイルス性肝炎	0	5	211	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	137	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	106	1	96
	後天性免疫不全症候群	0	11	1,370	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	69	1	56
	梅毒	0	2	736	2	714
	破傷風	0	5	112	0	88
	急性脳炎	0	1	166	2	216
	風しん ^(*)	0	2	289	-	-
麻しん ^(*)	0	39	10,934	-	-	

* 1: 平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

* 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

* 3: 平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第47週(11/17~11/23) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: デング熱 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 13例
二類感染症: 結核 322例	マラリア 1例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
三類感染症: 細菌性赤痢 6例	レジオネラ症 11例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3例
腸管出血性大腸菌感染症 32例	つつが虫病 26例	急性脳炎 1例
四類感染症: E型肝炎 1例	日本紅斑熱 2例	風しん 3例
A型肝炎 4例	五類感染症: アメーバ赤痢 7例	麻しん 10例
	ウイルス性肝炎 1例	
	梅毒 9例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第42~47週、10/13~11/23)

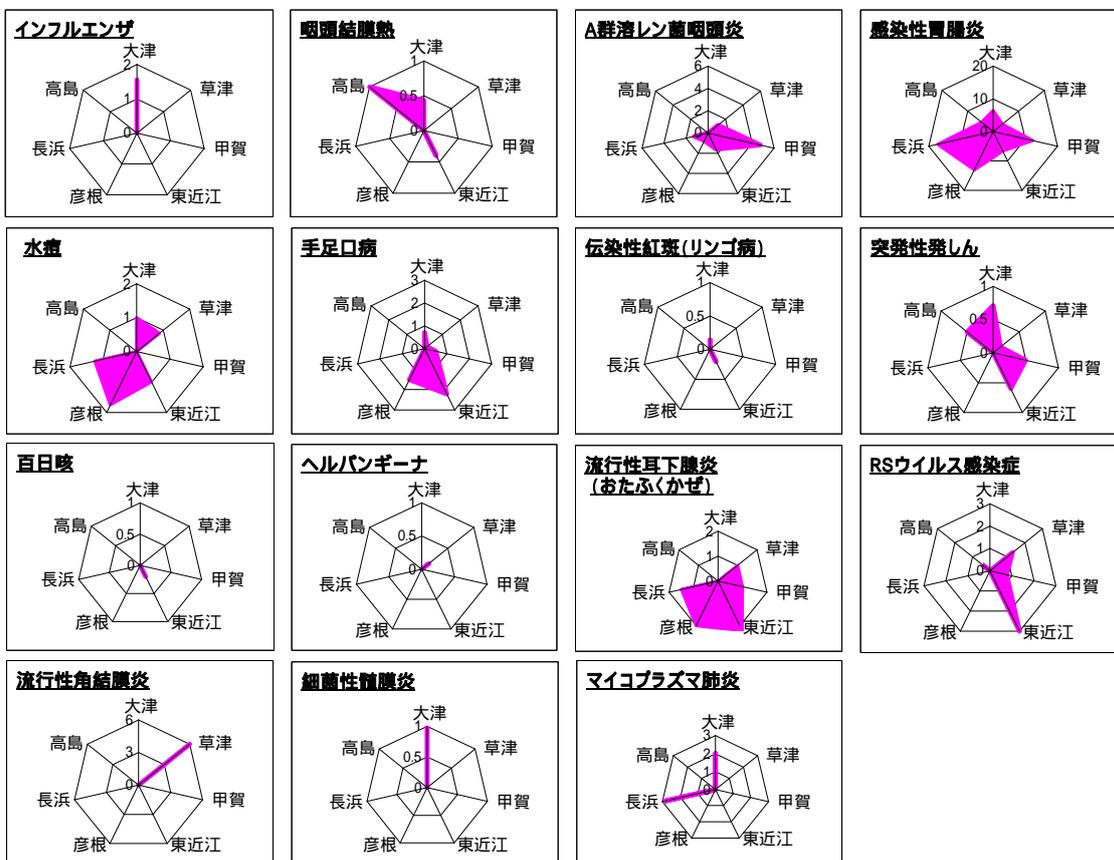
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)				
	42週 (10/13~10/20)	43週 (10/20~10/27)	44週 (10/27~11/3)	45週 (11/3~11/10)	46週 (11/10~11/17)
インフルエンザ	0.06	0.07	0.07	0.07	0.17
RSウイルス感染症	0.03	0.36	0.27	0.30	0.55
咽頭結膜熱(プール熱)	0.09	0.18	0.06	0.06	0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.42	0.88	1.18	0.73	1.48
感染性胃腸炎	3.55	4.76	4.55	4.88	5.76
水痘	0.76	0.52	1.15	0.52	1.24
手足口病	0.39	0.18	0.27	0.42	0.36
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0.06	0	0.03	0.03
突発性発しん	0.30	0.21	0.24	0.06	0.39
百日咳	0.03	0	0	0	0.03
ヘルパンギーナ	0.18	0.09	0.15	0.03	0.15
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.06	1.18	1.03	0.94	0.97
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0.13	0.38	0.38	1.63
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.14
無菌性髄膜炎	0.14	0.14	0.14	0.14	0
マイコプラズマ肺炎	0.14	0.14	0.29	0.29	0.29
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第47週、11/17～11/23)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.31	1.55	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.85	0	1.29	0.75	3.00	0	0	0.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.21	0.43	0	0	0.40	0	0	1.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.30	0	1.14	4.75	1.60	0.75	1.25	0	
感染性胃腸炎	8.55	6.43	3.57	12.25	6.60	13.00	17.25	4.50	
水痘	0.91	1.00	0.86	0	1.00	1.75	1.25	0	
手足口病	0.76	0.71	0.14	0.50	2.20	1.50	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.14	0	0	0.20	0	0	0	
突発性発しん	0.36	0.71	0.14	0.50	0.60	0	0	0.50	
百日咳	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0.14	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.09	0	1.00	1.00	2.20	2.00	1.50	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.75	0	6.00	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.71	2.00	0	0	0	0	3.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 3 6 9
 定点当たり患者数(人)

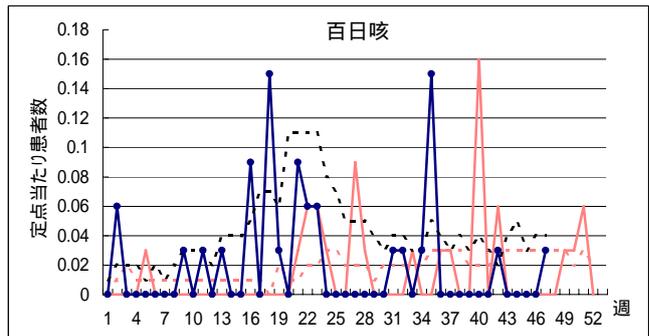
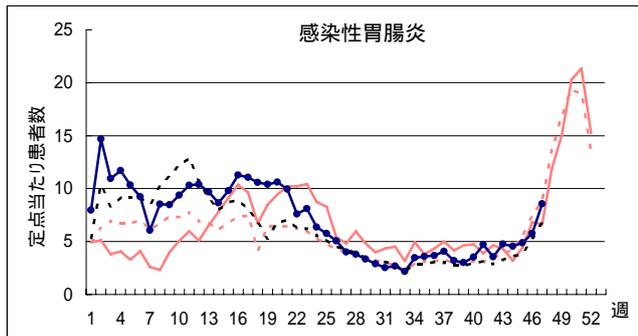
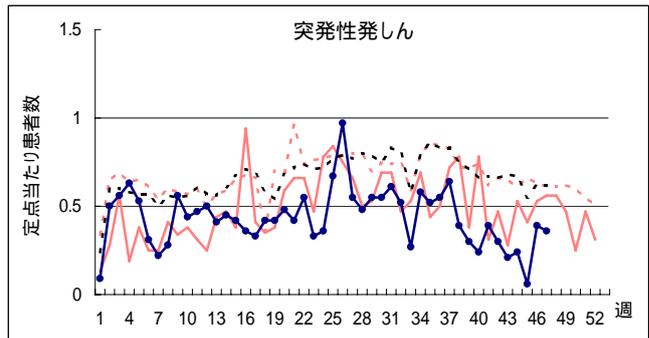
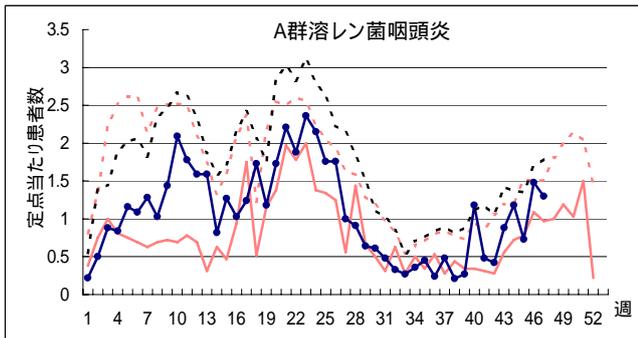
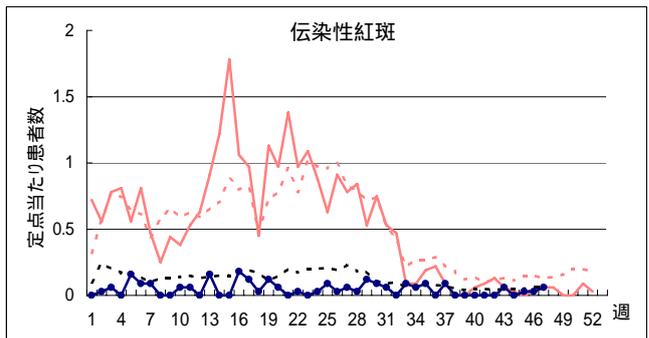
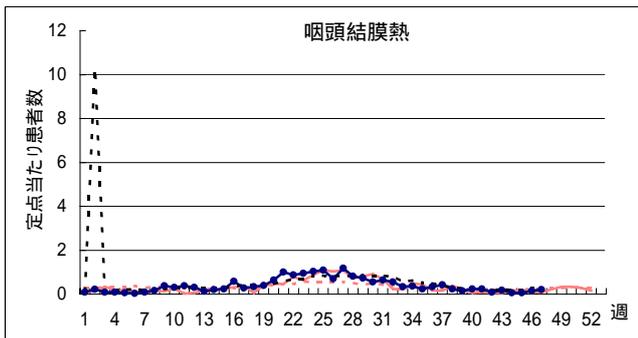
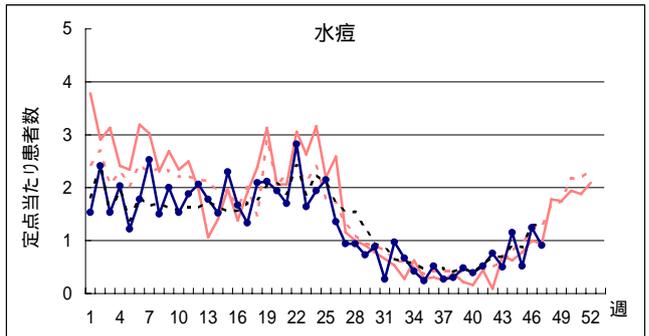
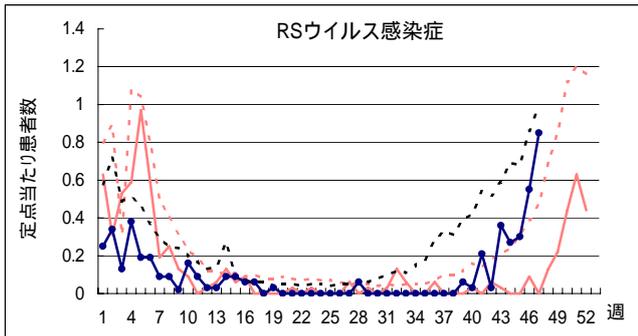
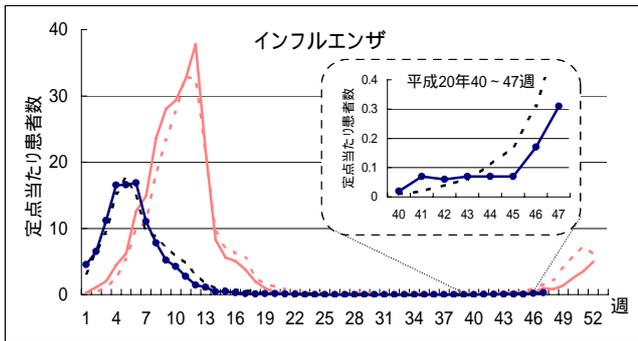
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



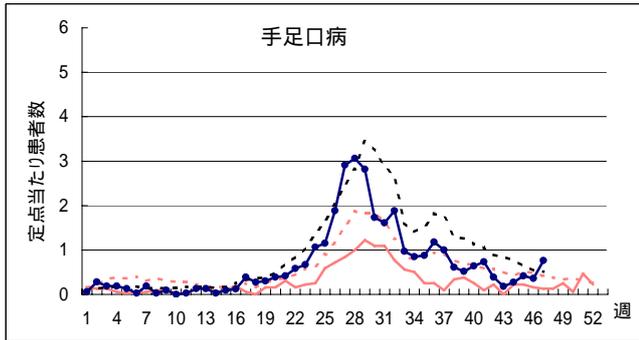
今週の発生状況：

- インフルエンザ-----大津からの報告が多くなり、先週の倍増となっています。
- A群溶レン菌咽頭炎----甲賀で先週よりさらに増加し定点当たり患者数は4.75となり、警報開始基準値(4.0)を超えています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週よりかなり増加しています。特に長浜では先週よりさらに増加し、定点当たり患者数は17.25と多くなっています。
- 手足口病-----東近江および彦根でやや多くなり、東近江では急増しています。
- 流行性耳下腺炎-----甲賀の定点当たり患者数は1.00となり、注意報発生基準値(3.00)以下になっていますが、大津および高島以外では先週より多くなっています。
- RSウイルス感染症-----東近江からの報告が多くなっています。

疾病別定点当たり患者数(平成20年第47週、H19.12.31～H20.11.23)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第 47 週、H19.12.31 ~ H20.11.23)



H19 { 滋賀 ————
 全国
 H20 { 滋賀 ●—●—
 全国
 週

